

全日病発第211号
平成29年8月30日

会 員 各 位

公益社団法人 全日本病院協会
会 長 猪口 雄二
医療従事者委員会
委員長 井上健一郎

平成29年度第13回看護部門長研修コース 開催のご案内

平素より当協会の活動に深いご理解をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、当協会医療従事者委員会では、平成17年度より会員病院の看護部門長を対象にした看護部門長研修コースを行っており、今年度も引き続き第13回目となる研修を開催する運びとなりました。

本研修は、看護部門長の「経営革新・実践力強化」を目的として、経営感覚、イノベーション、実践力の3つの狙いを軸に講義・演習等を行ない、原則全3単位（9日間）の出席及び課題の提出（医療従事者委員会にて審査）の条件を満たした方を「看護管理士」として認定しております。

詳細につきましては同封いたしますパンフレットをご高覧いただき、貴院の看護部門長もしくは次期看護部門長の方に、是非とも参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

参加をご希望の方は、平成29年10月10日（火）までにFAXにて参加申込書をご送付ください。

今年度も多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

お問合せ先

公益社団法人全日本病院協会 事務局 上田・向井 (<http://www.ajha.or.jp/>)

〒101-8378 東京都千代田区猿楽町2-8-8 住友不動産猿楽町ビル7階

TEL/03-5283-7441 受付時間/平日9:30~17:30（土日祝を除く） FAX/03-5283-7444

第13回 看護部門長研修コース
(看護部門長の「経営革新・実践力強化」)
参加のお勧め

公益社団法人 全日本病院協会
会 長 猪口雄二

日頃より当協会の活動にご協力ご支援をいただき厚くお礼を申し上げます。
さて、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、国は社会保障と税の一体改革を進めており、既存の医療・介護提供体制の見直しに関する様々な施策を実行しています。この医療制度改革には、地域医療構想を含む医療計画、平成30年度医療・介護報酬同時改定、療養病床の受け皿となる介護医療院など、諸問題が山積しており、医療機関の置かれている経営環境は益々厳しくなっております。

このような中で、医療の質を向上させながら健全な病院経営を継続するためには、病院組織内で最大の職員数を擁する看護部門のマネジメントは大変重要であり、それを率いる看護部門長の役割はますます大きくなってきています。

特に、医療制度改革や病院の経営的側面の理解、さらには部門内の問題解決能力やコミュニケーション能力など、管理者としての役割を果たすために必要な知識や能力の習得が求められています。

当協会では上記の認識を踏まえ、看護部門長の経営革新・実践力強化を図ることを目的に、平成17年度より看護部門長研修コースを実施してまいりましたが、様々な状況の変化により、旧来の知識だけではなく、新しい情報や知識を取り入れ続けることが必要とされているという認識のもと、また近年、多くの同コース修了者の方々から、自身の資質の維持・向上を図るために認定・更新制度創設の要望が上がっていることもあり、平成27年度より3単位9日間の研修とし、「看護管理士」認定と5年間の更新制度を導入いたしました。

本研修は、過去の受講生の声を反映させながらカリキュラムを継続的に更新しており、より実践的な能力を身につけることができるよう内容を充実させています。

会員病院におかれましては理事長・院長のご理解のもと、看護部門長の積極的なご参加について、ご高配のほど宜しくお願い申し上げます。



公益社団法人 全日本病院協会

全日本病院協会 医療従事者委員会



第13回 (平成29年度)

看護部門長研修コース (看護管理士認定)

受講のご案内

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

受講要件

- 受講者は現在看護部門長またはそれに準ずる者であること。
- 受講者は管理者が当研修会の受講を認めた者であること。

- 開催日程
第1単位 平成29年10月27～29日(金～日) 2泊3日研修
第1単位 平成29年12月1～3日(金～日)
第1単位 平成30年1月26～28日(金～日)
- 開講時間/各単位1日目13:00から
- 受講料金/全3単位9日間 会 員 200,000円(税込金額 216,000円)
非会員 300,000円(税込金額 324,000円)
(テキスト代、第1単位宿泊費、懇親会費、昼食代含む)

- 看護管理士認定について
本研修では、以下の要件を満たした方を看護管理士として認定いたします。
 - 原則全3単位(9日間)の出席
 - 修了後、課題の提出(医療従事者委員会にて審査)
- 受講定員/48名
- 申込締切/平成29年10月10日(火)
※定員に達し次第受付を終了させていただいております。

- 会 場/
第1単位
ホテルヴィラフォンテーヌ東京汐留
〒105-0021 東京都港区東新橋1-9-2汐留住友ビル内 TEL03-3569-2220
【アクセス】
 - ・汐留駅(ゆりかもめ)改札を出て右方向へ。歩行者デッキを通り、汐留住友ビル2F入口より徒歩1分
 - ・汐留駅(都営大江戸線)ゆりかもめ汐留駅方面の改札を出て10番出口方向へ進み、汐留住友ビル地下入口より徒歩1分
 - ・新橋駅(JR、銀座線、都営浅草線)汐留口より出て、シオサイト方向(地下1階)へ進み、大江戸線汐留駅10番出口方向へ徒歩6分
- 第2単位・第3単位
全日本病院協会 大会議室
〒101-8378 東京都千代田区猿樂町2-8-8 住友不動産猿樂町ビル7階 TEL03-5283-7441
【アクセス】
 - ・JR線・都営三田線「水道橋駅」東口より徒歩4分
 - ・半蔵門線・都営新宿線・都営三田線「神保町駅」出口A4より徒歩8分
 - ・JR線「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋口より徒歩10分

※宿泊につきましては、第1単位は事務局手配、第2単位以降は各自手配



公益社団法人 全日本病院協会

Program

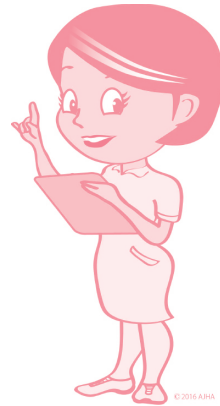
●講師・講義内容は変更になる場合があります。



目的は看護部門長の「経営革新・実践力強化」



1. 経営感覚 2. イノベーション 3. 実践力



病院・医療経営を取り巻く環境が更に厳しさを増している中、看護部門長は、組織のトップマネジメントの一員として管理、運営に参画し、医療の質を向上させ医療収益の拡大に貢献していくことが求められています。医療の現場で何が起きているのか、社会は医療・看護に何を期待しているのか、患者及び職員の満足度を向上させるために何をしていくべきか。

本研修では、自身の価値観の視点を見つめ直し、自己課題と向き合い、経営革新・実践力の強化を図る事を目的として開講いたします。

第1単位 10月27日(金)、28日(土)、29日(日)

【第1日目】平成29年10月27日(金) 13:00～17:30 (19:00)

- ＜看護部門長研修ガイダンス＞本研修の位置づけ及び研修目的と内容
講師/医療従事者委員会委員 齊藤 靖枝
- ＜自己紹介＞
- ＜V-CAT検査＞
- ＜病院経営環境＞医療改革の動向と現場の対応
講師/医療従事者委員会特別委員 池上 直己
- ＜懇親会＞

【第2日目】平成29年10月28日(土) 9:00～18:10

- ＜これからの看護管理＞看護現場の変革
講師/医療従事者委員会委員 高橋 陽子
- ＜課題検討＞グループテーマのメンバー編成 テーマ別基本構想
講師/経営コンサルタント 萩原 正英

【第3日目】平成29年10月29日(日) 9:00～14:30

- ＜課題検討＞テーマの環境分析
講師/経営コンサルタント 萩原 正英

第2単位 12月1日(金)、2日(土)、3日(日)

【第1日目】平成29年12月1日(金) 13:00～17:45

- 選ばれる病院になるために
講師/医療法人清和会長田病院事務部部长代行 池田 聖徳
- 財務会計・管理会計
・財務会計 ①財務諸表 ②貸借対照表 ③損益計算書 ④財務分析
・管理会計 ①損益分岐点 ②原価管理・低減 ③部門別収支計算
講師/一般財団法人三友堂病院理事 法人本部総務部長 事務部長 大峽 雅男

【第2日目】平成29年12月2日(土) 9:00～18:30

- ＜課題検討＞
グループテーマの全体確認 グループテーマの課題体系化
グループ課題体系に基づく個人別テーマ設定 個人別テーマの構想設計
講師/経営コンサルタント 萩原 正英

【第3日目】平成29年12月3日(日) 9:00～15:10

- ＜ストレスマネジメント＞ストレス対処能力を高めるメンタルヘルスケア
講師/上尾中央総合病院看護部 科長 鎌田 博司
- ＜V-CATフィードバック＞
検査結果の見方 人材特性マネジメント
講師/経営コンサルタント 田中 信

第3単位 1月26日(金)、27日(土)、28日(日)

【第1日目】平成30年1月26日(金) 13:00～17:20

- ＜グループ内個人プレゼン＞
- ＜ヒューマンスキル＞
・リーダーシップ ・モチベーション ・コミュニケーション ・コーチング
講師/経営コンサルタント 田中 信

【第2日目】平成30年1月27日(土) 9:00～18:30

- ＜課題検討＞プレゼン資料作成
模擬プレゼン
講師/経営コンサルタント 萩原 正英

【第3日目】平成30年1月28日(日) 9:00～14:30

- グループ別プレゼン
講師/経営コンサルタント 萩原 正英
- 総評
- 閉講式・懇親会(昼食)

平成29年度第13回看護部門長研修コース
受講申込書

		記入日	平成	年	月	日
受講者氏名	ふりがな					
E-mailアドレス (個人)						
役職名	左記役職での 経験年数	現在の病院での 勤務年数	他の病院も合わせた 勤務年数			
	年 ヶ月	年 ヶ月	年 ヶ月			
病院名			会員	<input type="checkbox"/> 会員	<input type="checkbox"/> 非会員	
病院所在地	〒 -					
TEL			FAX			
ホームページURL						
経営主体 (法人名)						
種別	一般	療養	精神	感染	結核	合計
	()床	()床	()床	()床	()床	()床
理事長名			院長名			
応募理由 (いずれかに○)	1. 理事長・院長より勧められて 3. 他の人に勧められて(推薦者)			2. 自身で理事長・院長へ提案 4. その他()		
宿泊部屋の希望	<input type="checkbox"/> 禁煙室		<input type="checkbox"/> 喫煙室	<input type="checkbox"/> どちらでもよい		

<応募要項>

1. 受講要件

同封のパンフレットをご参照下さい。

2. 開催日程

第1単位／平成29年10月27～29日(金～日)

第2単位／平成29年12月1～3日(金～日)

第3単位／平成30年1月26～28日(金～日)

3. お申し込み方法

①本申込書に必要事項をご記入の上、「承諾書及び誓約書」と一緒にFAXにて事務局までお送り下さい。

②申込書受理後、「確認書(受講料お振込みのご案内)」をFAXにて送信致しますので、内容をご確認のうえ
受講料を平成29年10月10日(火)までにお振込下さい。

平成29年10月10日(火)以降に参加をキャンセルされた場合、受講料は全額返金できかねますのでご了承ください。
申込書をFAX送信後7日たっても確認書が届かない場合は下記の事務局までご連絡下さい。

③おつて、受講者の簡単な経歴等をお伺いする為の「研修前調査票」をご郵送いたしますので、
必要事項をご記入の上ご返送下さい。

4. お申し込み締切日

平成29年10月10日(火) ※定員に達し次第、受付を終了させていただきます。

5. 病院情報及び調査票情報の利用目的

①研修において、自院の課題を分析する為に病院の情報を利用する事がございますが、研修の関係者とは
機密保護の契約を結んでおりますので、病院の情報を本研修の目的以外に使用することはございません。

※上記に基づき、別紙の「承諾書及び誓約書」をご捺印の上、本申込みと一緒にFAXにてお送りください。

②研修前にご提出いただく「調査票」は、講師が受講者情報を把握する為、また、受講者間での交流の為に
利用します。調査票の内容を、本研修の目的以外に使用することはございません。

6. 研修会場及び宿泊施設

第1単位

ホテルヴィラフォンテーヌ東京汐留

〒105-0021 東京都港区東新橋1-9-2汐留住友ビル内 TEL03-3569-2220

※宿泊手配は全日病事務局にて行ないます。

【アクセス】

・汐留駅(ゆりかもめ)改札を出て右方向へ。歩行者デッキを通り、汐留住友ビル2F入口より徒歩1分

・汐留駅(都営大江戸線)ゆりかもめ汐留駅方面の改札を出て10番出口方向へ進み、汐留住友ビル地下入口より徒歩1分

・新橋駅(JR、銀座線、都営浅草線)汐留口より出て、シオサイト方向(地下1階)へ進み、大江戸線汐留駅10番出口方向へ徒歩6分

第2単位・第3単位

全日本病院協会 大会議室

〒101-8378 東京都千代田区猿楽町2-8-8住友不動産猿楽町ビル7階TEL 03-5283-7441

※宿泊手配は各自でお願いします。

【アクセス】

・JR線・都営三田線「水道橋駅」東口より徒歩4分

・半蔵門線・都営新宿線・都営三田線「神保町駅」出口A4より徒歩8分

・JR線「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋口より徒歩10分

7. お申し込み・お問い合わせ先

公益社団法人全日本病院協会 事務局 看護部門長研修コース担当(上田・向井)

〒101-8378 東京都千代田区猿楽町2-8-8 住友不動産猿楽町ビル7F

TEL03-5283-7441(受付時間:土日祝を除く9:30～17:30) FAX03-5283-7444

承 諾 書

公益社団法人全日本病院協会が主催する「第13回看護部門長研修コース」において、研修会の目的の範囲内において、当施設から受講する者が、当施設の院内データを使用することを承諾いたします。

平成29年__月__日

施設名：_____

代表者氏名：_____ 印

誓 約 書

私は、公益社団法人全日本病院協会（以下、全日病）が主催する「第13回看護部門長研修コース」において知り得た他施設の情報を、当研修会の目的以外で使用しないことを誓約いたします。

平成29年__月__日

施設名：_____

受講者氏名：_____ 印

上記承諾書及び誓約書にご署名、捺印いただき、受講申込書と一緒にFAXにてお送りください。

※1 承諾書につきましては代表者氏名及び代表者印を捺印ください。

※2 誓約書につきましては受講者氏名及び受講者の認印を捺印ください。

第13回(平成29年度)受講者の声



医療法人社団陽和会
武蔵野陽和会病院
辻村 淑子

『受講動機についての振り返り』

第6回看護部門長コースを受講後、看護部の質の向上を目的に、教育体制等に力を入れてきました。今回の参加動機は①「看護管理士」認定が短期間で取得できる魅力を感じたこと②看護部長として組織全体の経営管理の視点が弱いことを掲げ受講しました。座学と共にグループでの課題研修に取り組みました。そこから個人テーマに絞り込み課題解決のための作業が始まります。病院に持ち帰りデータ収集後、レポートにまとめました。短期間で投げかけられた課題が大きくいつも頭の中に取り組み内容を考えながら3ヶ月が過ぎました。グループワークでは各地から参加した仲間助けられながら、実践に活用できる内容に仕上げることができよかったです。V-CAT検査で自分の傾向分析や目標管理等経営革新に結びつける実践力など盛りだくさんでしたが有意義な研修でした。



北大阪医療生活協同組合
照葉の里箕面病院
本多 玲子

『看護部門長研修を受講して』

看護部長着任し2年が経ち、自分の中で不足している部分を補うためにどうすべきかと自問自答しているときに部長仲間から看護部門長研修があることを教えてもらい、自己研鑽と自己学習のため参加させていただきました。

研修に参加することで、今まで学んできたことの再認識と新しい知識を習得できました。またグループワークをすることで自己課題だけでなく、同じ悩みを共有できる仲間づくりと情報交換ができ問題解決の糸口を見つけることができました。

管理者になれば孤独との戦いですが、今回の研修を経て全国につながるネットワークづくりが出来たことは大きな財産だと思ひ、これからも継続した学びにつながるようにしていきたいと思ひます。終わってみれば長いようで短い研修でもう少しみんなと学びかったと思ひました。

お世話になった講師の先生方、全日病の関係者各位の皆様へ深くお礼を申し上げます。



医療法人唐虹会
虹と海のホテル
宮本 剛

『看護部門長研修コースの効果』

今回の研修は北海道から沖縄まで全国から44名の受講者が参加しており、病院の規模なども同じような施設からの参加者が多く、困っている事や課題はどれも似通っていました。講義はV-CATやエゴグラム等を用い自分自身を知る事に始まり、財務会計・管理会計、基本的なヒューマンスキル、ストレスマネジメントなど多岐にわたり充実した研修内容でした。

この研修の一番の思い出はグループワークです。各施設の問題を抽出し、課題を明らかにし、解決に向けた計画を体系的に組み立て、最後にはプレゼンするという作業を通し、課題解決は勿論、仲間意識が醸成されていくのを肌で感じました。

研修終わりは毎晩のように仲間とお酒を酌み交わし、愚痴を零すことなども日頃出来にくい「カタルシスならぬ、語るシス」効果がありました。

講師の先生方、全日病事務局の方々、第12回生の受講者の皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

全日病事務局の皆様、お世話になりました。また、何かの機会にお会いできれば幸いです。『明日、晴れたら良いね!!!』



医療法人社団弘人会
中田病院
山崎 ひとみ

『試練を乗り越えて』

6年前に看護部門長研修を受講した時は、2単位6日間のコースでした。この度、上司の勧めと「看護管理士認定」を取得できるということもあり、自分の振り返りと再チャレンジのため受講しました。

今回の研修は、3単位9日間のコースで半分以上がグループワークでした。

経営革新と実践力強化を目的とした研修内容であり、課題解決とプレゼンテーションに向けて取り組みました。そのプロセスの中で挫折しそうなきもりましたが、グループで助け合い、励まし合ってやり遂げた時の達成感を共有できたことが大きな喜びとなりました。

国の動向に伴って医療制度改革が行われていく中、今後の地域医療を見据え、看護管理者として幅広い知識と柔軟性を持った考え方で役割を果たしていきたいと思ひます。

講師の先生方、全日病のスタッフの方々、そしてグループの仲間達と受講生の皆様へ深く感謝いたします。有難うございました。